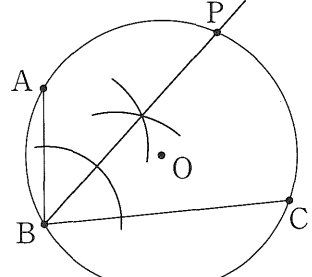


学力検査問題正答表

数 学

問題	正 答	配点	採点上の注意	問題	正 答	配点	採点上の注意
1	1	10	3	4	(1)	0.3 kg	3
	2	$\frac{1}{3}$	3		(2)	$a = 0.3b$	3
	3	-24	3		(1)	(2, 7.9)	3
	4	$3\sqrt{6}$	3		(2)	ウ	3
	5	$7a-9$	3		説明 yをxの一次関数とみなし、原点Oから点Dまでの点を基に、直線をかき、そのグラフにおいてy=120のときのx座標を読む。 (3) [別解] yをxの一次関数とみなし、原点Oから点Dまでの座標を基に、yをxの式で表し、その式にy=120を代入し、xの値を求める。	5	正答及び別解は、それぞれ一例を示したものである。
2	1	イ, エ	3	1	(1)	a = 2	3
	2	68 度	3		(2)	y = -3x + 14	3
	3	 (作図に用いた線は消さないこと。)	4		(3)	9	4
	4	ア	3		説明 △ABRと△CQRにおいて 対頂角は等しいから、 ∠ARB = ∠CRQ …… ① 仮定より、∠ABC = ∠ECD よって、同位角が等しいから、 AB // EC …… ② 平行線の錯角は等しいから、②より、 ∠BAR = ∠QCR …… ③ ①, ③より、2組の角がそれぞれ等しいから、 △ABR ∽ △CQR	6	証明は、一例を示したものである。
	5	0.70	3		(2)	$\frac{5}{2}$ cm	4
3	(1)	イ	3	5	1	$\pi r^2 h$ cm ³	4
	(2)	黄色と赤色 $\frac{1}{3}$	5		色の組み合わせのみ正答の場合は、3点	(1)	$3\sqrt{3}\pi$ cm
3	(1)	15	3	6	(2)	$\frac{3}{2}\sqrt{3}\pi$ cm	4
	(2)	記号 イ 説明 2人グループの数と3人グループの数の差が2のとき、 y = x + 2 …… ① または、 y = x - 2 …… ② Aさんが検討に用いた式を③とする。 ①, ③を連立方程式として解き、 x = 15, y = 17 ②, ③を連立方程式として解き、 x = $\frac{87}{5}$, y = $\frac{77}{5}$ x, yは0以上の整数であることから、 x = $\frac{87}{5}$, y = $\frac{77}{5}$ は適していない。 したがって、3人グループの数の方が大きい。	5		正答は、一例を示したものである。	(3)	$\frac{9}{2}\pi$ cm